

2017年3月

皆さんへ

生活文化研究会
代表 坂根政代

『とっとりの人形物語～村を愛する人形淨瑠璃と人形芝居～』
の発刊にあたって

この度、鳥取県協働提案連携推進事業の補助を受けまして、標記冊子を作成することができました。

鳥取県は、大阪、徳島、淡路等に続くほどの人形淨瑠璃（人形芝居）の文化がありました。現在では、3つの座が鳥取において、人形淨瑠璃（人形芝居）の文化を引き継いでいます。

現存する3つの各座の「人形」の起こりは、「なんとか良い村にしたい」という想いでした。そして、地域ぐるみで「人形」を創りあげてきた歴史をもっています。今でいう、村おこしであり、地域を愛する想いから始まったということが、共通点としてありました。お話を聞き、先輩たちの村を思う熱い想い・人形への愛着に、私自身の心も温かくなり、誇りを感じました。この想いが、鳥取の人形文化の根幹に流れ、今まで続けられてきています。

ぜひ、このことを知っていただき、そして「人形」への愛着を思って欲しいと思い、この冊子を作成した次第です。

現存する鳥取県の人形淨瑠璃（人形芝居）の3つの座のことが、一冊にまとめられたことが、「とっとりの人形物語」の大きな成果でもあると思います。

この冊子は、小学校高学年以上の方々に読んでいただくことを想定し作成しました。しかし、読みづらい箇所もあるかも知れません。読みづらい場合は、写真等を見ていただくことで、その想いを感じていただければと思います。

ぜひ、地域を知る、また、「人形文化」に興味や関心を持っていただくためにご活用いただきますよう、お願ひいたします。